

によど川

仁淀川町広報

2011
7月号

国際森林年 植樹&環境学習イベント
東西南北まわり舞台
長者花しょうぶまつり
集落見聞録〈桧谷〉

中津で植樹 & 環境学習イベント



ツツジ・桜など1200本植樹

今年、国連が定める「国際森林年」であることから、六月十二日に山村自然楽校「しもなの郷」で公益社団法人高知県森と緑の会協賛による「植樹&環境学習イベント」が行われ、地元住民ら四十九人が参加しました。

午前中は「しもなの郷」が公園整備を進めている中津川対岸（通称・斧ノ谷前公園）で、ツツジ、吉野桜、桃など全部で七種、千二百本を植樹する緑化活動を行いました。強い雨が降るなか、石の多い土を掘るだけでもかなり大変でしたが、参加者は黙々と植樹作業を進めていました。

作業終了後に「しもなの郷」で行われた自然ミニ講演会では、講師の北平地則夫さん（向口）に中津川流域の地層と植物群の関係や、木を使った暮らし、歴史に至るまで中津地域の木にちなんだお話を聞いた。参加者も熱心に聞き入っていました。

また昼食会では、地元の

旬の野菜を使った田舎料理に舌鼓。会話も弾み、疲れを忘れるひとときを過ごしました。

山村自然楽校しもなの郷運営委員会の中西二三会長は「大勢の方に自然と森の大切さを学んでいただき、また、今後も継続して花のある公園をつくっていきま

す」と話していました。

※このイベントは、公益社団法人高知県森と緑の会の平成二十三年度緑の募金公募事業と、平成二十三年度仁淀川町地域づくり事業（コミュニティ事業）を活用して実施されました。



ツツジ 1000 本をはじめ、たくさんの木が地元住民らの手によって植樹されました

自然の大切さ・森の機能を学ぼう



ちょっと一休み



地元の方を中心に 49 人が参加しました



会話が弾んだ昼食会



自然ミニ講演会の様子

2011国際森林年とは

2011年（平成23年）は、国連が定めた国際森林年（the International Year of Forests）です。

我が国でも、国際森林年という節目の年に、現在取り組んでいる森林林業再生や「美しい森林づくり推進国民運動」、途上国の森林保全等に対する国民の理解の促進につなげていくことを目的に、様々な活動を予定しています。

国際森林年の概要

2006年の国連総会決議により、2011年は国際森林年とされています。国際森林年は世界中の森林の持続可能な経営保全の重要性に対する認識を高めることを目的とするもので、各国に対し積極的な取り組みや国内委員会の設置が要請されています。なお、前回の国際森林年は1985年でした。

（林野庁ホームページより）